

# えびはら直矢市政報告

発行人  
海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323  
E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>



2020年11号  
2020.12.1



## 12月議会一般質問のテーマ 福祉総合相談窓口の早期設置を

相談を必要な支援につなぐことができる総合窓口が今こそ必要

11月16日、会派で川越市の視察を行い、川越駅前の商業施設に今年6月に開設した福祉総合相談窓口を見学しました。この福祉総合相談窓口とは、福祉に関する様々な相談を一体的に受け付け、相談内容に応じて市役所内の担当部署だけでなく関係機関の窓口にもつなぐ相談窓口で、すでに川越市の他にふじみ野市、戸田市などでも開設されています。

福祉分野については、申請したい内容によって部署が細かく分かれており、どこに行けばよいのかわかりにくいことが大きな課題としてあげられます。

さらに、いわゆる 8050問題に代表される高齢者とひきこもりの子どもや障がいを持つ子どもがいる世帯や、介護と育児を同時に抱える世帯の支援など、複数の課題がかかわるケースは数多くあり、その組み合わせもまちまちです。そのような課題に漏れがないように対応し、速やかに必要な支援につなげるためには、適切な調整を行う初期相談窓口が不可欠です。

新型コロナウイルス感染症により、これまで以上に複雑な課題を抱える市民の方々が目に見えて増えています。それに対しても福祉総合相談窓口は大きく寄与すると考え、12月の一般質問で設置を求めています。



川越市の福祉総合相談窓口



### キーワード

#### 福祉総合相談窓口

介護や障がい、生活支援、児童福祉など、福祉にかかわる様々な相談を一体的に受け付ける相談窓口。相談内容にしたがって市役所内の窓口や、外部の専門機関の窓口にもつなぐことで、適切な支援につながりやすくなり、複数の課題に漏れなく対応しやすくなる。



### データでみる

#### 制度の狭間にある生活課題

自治体が想定する「狭間にある」生活課題  
参照：市貝町総合相談支援センター

- ・高齢の親と働いていない独身の子が同居する世帯
- ・介護と育児を同時に抱える世帯
- ・ひきこもりなど様々な複合的な課題に直面して生活が困窮している世帯
- ・ごみがかたづけられない世帯
- ・認知症の家族が同居する世帯
- ・社会的に孤立する世帯の問題

12/14（月）10:45頃から一般質問を行います。

新型コロナウイルス対策のため傍聴の自粛をお願いしています。ぜひ、インターネット中継 (<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>) でご覧ください。

# 一般質問のそのほかのテーマ

今定例会での一般質問の日程が12月14日に決まりました。今回の質問では、これまでも繰り返し取り上げてきた、①保育行政、②子ども支援、③福祉施策、④自然環境保護の4つのテーマについて、これまで提案した事項の検討状況を確認するとともに、新たな課題について必要な施策の指摘を行っていきます。



9月定例会での質問の様子

前頁で取り上げた福祉総合相談窓口の設置に代表される、窓口にお越しになる皆さまの負担を減らすための福祉分野における部署間の連携の強化に加え、登園自粛期間の公立・私立保育所の自粛率の違いとルール徹底、子育て世帯を支援するための子ども家庭総合支援拠点の早期設置や新たな財源確保のための遺贈の制度整備などは、これまでの質問の内容を踏まえ、より具体的な施策を提案していきます。ぜひこれらのテーマにおいて皆さまの関心のある内容について教えていただきたいと思います。

## 一般質問の4つのテーマと主な質問予定の内容

- ①**保育行政** 登園自粛の際のルールの徹底、「隠れ待機児童」問題、しらこぼと保育所
- ②**子ども支援** 子ども家庭総合支援拠点、児童生徒の精神不調、少年相談
- ③**福祉施策** 福祉総合相談窓口、成年後見制度、認知症対策、市職員の精神不調
- ④**自然環境保護** 新環境センター、希少生物保護、特別緑地保全地区制度、遺贈

## 活動報告



### 2020年11月29日 会派の市政報告会を開催

会派『政策フォーラム・市民の声あげお』として市政報告会を上尾市文化センターで開催しました。オンラインでのご参加が難しい方が少なからずいらっしゃることを鑑み、感染症対策を行ったうえで通常の形式で報告会を開催し、政治倫理条例をはじめとした項目について報告と意見交換をしました。

## えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3生まれ。  
 ●上智大学法学部卒  
 ●首都大学東京社会人類学教室修了。  
 国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在も子どもの複数の団体の運営に携わっている。  
 2017年上尾市議会議員に初当選（現在2期目）。議会運営委員会副委員長。  
 家族：妻、長男、長女、次男